



大野城 民児協だより

第56号

発行者 / 大野城市
民生児童委員連合協議会
会長 齊藤 裕治
編集 / 広報委員会

連合会長あいさつ

12月改編期を終えて思う

大野城市民生委員児童委員連合協議会

会長 齊藤 裕治



昨年、日本各地で地震・火災・風水害を見聞きました。災害に遭い、今も困難に耐えつらさや思いが、心よりお見舞い申し上げます。我が大野城市でも、急激な気候変化によって思いがけない事態がくるやも。

最近、特に思う事は、人と人との繋がりが重要・必要だということです。

さて、我々民生委員・児童委員の活動は市民相互の助け合い、相手を敬い寄り添う『和のこころ』で自分自身を高揚する必要があります。

少子高齢化・高齢者世帯増加の中、物価高や生活困難事例が多岐に広がっているのをよく見聞します。

私達は、助けが必要な人達を見守り、関係機関へ繋がります。



令和7年12月、委嘱された96名に感謝すると共に、心構えや地域との連携等取組むべき目標を共有し、特に、大野城市民生委員児童委員連合協議会として活動して参ります。

今後は、地区民児協へ繋げ、地区役員による教育指導により一層の活躍を期待します。

我々は、厚生労働大臣からの委嘱による委員であり、非常勤特別職地方公務員ですが、一方、ボランティア活動にも取組み、行政活動とは異なるものです。

今後も地域共生社会の実施や包括支援体制の維持、こども家庭庁創設の意義を十分考慮し、方向性を再確認しながら、連合会長として皆様と共に研鑽を重ねていきます。

地区会長あいさつ

有意義で楽しい活動を

南地区会長

小坪 清子



前期に引き続き、会長職という重責をお受けしました。

私たち民生委員・児童委員の活動は、多くの人との出会いや様々な活動の中で学びもたくさんあります。

しかし一方で、活動の中で迷ったり悩んだりすることもあります。

そんな時には、地区定例会の場などで、お互いの悩みや体験などを皆様と共有しながら、私達の活動が有意義で、楽しいものとなるように微力ではありますが支援させて頂きます。

皆様のご協力をよろしくお願い致します。

互いに感謝の心を持って

中央地区会長

吉次 康雄



中央地区は委員定数に対し、欠員の数が多く、区委員の負担にならないよう、区長に協力をお願いしている所です。

多様化する地域福祉課題に対し、住民に寄り添い、地域の見守り等、関係機関と連携を図り、より良い『つなぎ役』として、活動する決意ですが、何よりも

我々の健康が第一です。自分なりに、優先順位を決めて、取り組みましょう。皆様の温かいご支援をよろしく申し上げます。

新たな3年間のスタートにあたって

東地区会長

笹川 義信



3年に一度の斉改選を終え、新たな3年のスタートを切りました。

私自身も民生委員・児童委員になって5年が過ぎ、活動にも慣れてまいりました。ただし、この「慣れ」には注意が必要です。会社員時代の一つの仕事に慣れた時、よく失敗することがありました。慣れがマンネリを生み、注意すべき事を見逃してしまうことがあります。

民生委員・児童委員の活動に、高齢者の見守りがありますが、面談相手の体調や気分の変化をしっかりと感じることが出来るよう日々新鮮な気持ちで活動していく決意です。

新任のごあいさつ

北地区会長

仲尾 和子



このたび、大任をお引き受けさせて頂いております。く事になり、身の引き締まる思いでございます。

民生委員・児童委員として未熟な私ではありますが、地域共生の実現を目指し、民生委員・児童委員の一員として、地域住民の方に寄り添った活動が出来ればと思っております。

地域関係機関・団体等と連携しながら、皆様のお力を借りて尽力して参りますので、よろしく申し上げます。



シリーズ 育む

一人一人の心が落ち着く学校づくり

大野城市立大城小学校 校長 平井 源樹

本校は四王寺山の麓に位置し、豊かな自然と温かい地域の皆様に育まれて、優しく素直な子どもたちが大変多い学校です。令和7年度から教育目標を『よりよく生きようとする子どもの育成』と新しくし、その土台として「一人一人の心が落ちつく環境づくり」を大事にしています。「全ての子どもにとつて、大城小学校が安心して過ごせる居場所になってほしい」というような思いを全職員と共有して、知恵を出し合いながら、次のような取組を行っています。

一つは、朝の昇降口での「教師による子どもたちの出迎え」です。朝の出会いから、元気に挨拶を交わすことで、笑顔でスタートできる子どもが増えていきます。モヤモヤした表情の子を見かけたときは、朝からすぐに相談に乗って、少しでも元氣を取り戻せるようにしています。

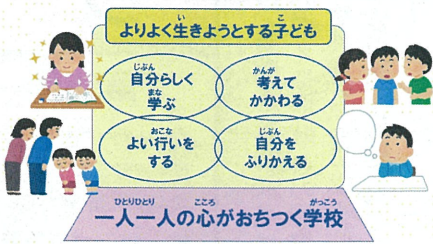
二つは、「朝の余裕時間」をつくり出す体制の改善です。朝、学級で活動できる時間を多くとっています。これも、教師が



子どもたちと向き合う時間を増やし、子どもたちが落ち着いて一時間目を迎えることができるようにするためです。

三つは、「サマータイム時制」の実施です。熱中症指数が高くなる6月から10月は、昼休みの外遊びができなくなり、子どもたちのストレスも溜まりがちです。そこでこの期間は、比較的暑くない朝に、外遊びができる長時間の朝休みを設けた時制にしています。実施後は、落ち着いて学習に向かう子どもが増えました。

今後、子どもファーストで教育活動をつくっていくながら、子ども一人一人が安心して学習や仲間づくりに励む学校にしていきたいです。



向こう三軒両隣のおつきあい



高齢者・障がい者福祉部会長
東地区 白壁 晴美

私達の子どもの頃は、近所の庭先で小さな子から大きな子まで一緒に縄とびや鬼ごっこ等でかけ回って遊んでいました。

今は、核家族化や社会の変化で近

思い



児童家庭福祉部会長
中央地区 下川 浩司

月2回の大利の日、通学路にて様々な子供たちの様子をうかがうことが出来ます。

自ら元氣に挨拶してくれる子や、明るく返事を返してくれる子、なかには残念ながら殆ど無視の子もいた

部会長就任挨拶



生活福祉部会長
中央地区 林田 茂

現在3期目ですが、まだまだ勉強不足、経験不足を痛感する中で部会長という大役をお引き受けする事となりました。

生活福祉という言葉は、包括的な意味合いを含むため、具体的にどの

所付き合いも少なくなり、コロナ禍で人との交流も制限されました。

最近、地震・大雨等の災害・山火事・犯罪・孤独死等が増えてきました。被害を少なくする為には、向こう三軒両隣のおつきあいを声掛けではないかと感じています。困っている方に、笑顔で接して心を開いてもらえればと思っています。

そんな子供たちの中で、季節にふさわしくない身なりをしていないか等を気にかけていると、その子供たちの後ろには、自ら抗うことが困難な家庭の存在が見えるような気がしてきます。

時折報道される子どもに対する虐待等の事件は、とても腹立たしくやりきれなくなる気持ちになります。そんな問題の解消に少しでも関わっていきけるよう皆で学んでいこうと思っています。

様々な活動を行っていけば良いのかイメージが未だ掴めませんが、副部長・会計の方々の力を借りながら活動を進めて参る所存です。

皆様のご協力ご支援を賜りますよう宜しくお願い致します。



住んでよかった月の浦

南地区・月の浦区 区長 森 顕

帰宅ラッシュが終わるころ、回転灯を灯した青パトが住宅地に向けて公民館を出発していく月の浦区。洒落た書き方で始まる月の浦区は、牛頸山の麓、大野城市の南端に位置して創立31年目を迎えようとしております。

もともと山であった月の浦は、ベツドタウンとして造成が行われ、現在2,000世帯強5,000人の方が住まわれていますが、市内でも高齢化の伸び率が高い地域とも言われています。そのため、民生委員・児童委員をはじめ福祉推進委員の皆さまたちのご協力を仰ぎ、高齢者に限らず区民皆さまの落着いた生活を見守っていくべく各種活動に努めております。

その一環が冒頭に紹介した青パトによる区内の見回りパトロールになります。小学生の下校時と、19時半からの1日2回、ボランティアの方々と一緒に実施しています。子どもたちは、区長の私が青パトに乗りしている『もりけんさん』と声をかけな



がら手を振ってくれます。公民館にいる中で最高に楽しいひとときです。このような楽しいひとときを多くの区民の皆さまにも体感していただきたく、世代間交流を目的とした公民館食堂(子ども食堂)を隔月で年6回開催しています。シニアクラブ・文庫・食改善など、組織の壁を作らず調理する組と、調理中に子どもたちの遊び(工作・各種ゲームなど)時間を必ず設けて、楽しく世代間交流がはかれるように心がけております。

そして、区民の皆さまが『住んでよかった月の浦』と言っていただけるよう、これからも邁進してまいりますので、民生委員・児童委員をはじめとする皆さまのご指導・ご鞭撻をよろしくお願い致します。

ということ、パトロールに出発してきます。(笑)

民生委員・児童委員の皆様と共に支える地域福祉

すこやか福祉部長 多々良 直也

民生委員・児童委員の皆様には、日頃から地域福祉の推進に多大なるご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。

令和7年度は、民生委員・児童委員の1斉改選が行われました。12月から新しい体制がスタートし、3月時点で97名の皆様に民生委員・児童委員として活動していただいております。

近年、少子高齢化をはじめとした社会や生活形態の変化によって、市民の皆様が抱える課題は一層複雑化・多様化しています。そのような状況において、地域住民の実情を把握し、関係機関との橋渡し役を担ってくださる民生委員・児童委員の皆様の役割はますます重要なものとなっております。

現在、すこやか福祉部は、介護支援課、すこやか長寿課、健康課、生活支援課、そして民生委員・児童委員制度を所管しております福祉サービス課の5課で構成されています。市民の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、各課で精一杯取り組んでおりますが、複雑化する地域課題やニーズに対応するためには、民生委員・児童委員の皆様を初め、地域団体や関係機関の皆様と市

がしっかりと連携することが必要不可欠です。

高齢者や子どもをはじめ、地域で支援を必要とする方々に寄り添い、身近な相談役としての民生委員・児童委員の皆様は、支援を必要とする方々にとつて大きな安心につながっていると感じております。

日頃の活動の中でご不安なことなどございましたら、いつでもご相談ください。市といたしましても、皆様の活動が少しでも円滑に進むよう精一杯努めてまいります。

結びに、皆様のますますのご健勝とご活躍、大野城市民生委員児童委員連合協議会の益々のご発展を祈念申し上げます。

